

急いでも

安平町交通安全スローガン

吉田道代さん(当時富岡小6年生)

心のブレーキ 忘れずに

春の全国交通安全運動

5月11日～20日

行楽シーズンを迎え、車で出かける機会も多くなり、また子供が外に出て遊ぶことが増える時期です。自転車との接触や急な飛び出しによる事故が起きる季節でもあります。こうした中、交通事故を起こさない運動を皆さんで取り組みましょう。

識し、安全な行動と夜光反射材の着用を努める。

運動の重点②

速度上昇期に伴う

スピードの出し過ぎ防止

【運転者には】

スピードの出し過ぎに伴う危険性を理解し、速度ダウンに努める。

【家庭では】

運転者がスピードを出し過ぎないようにお互いに注意する。

【職場では】

ゆとりのある運行計画でスピードの出し過ぎは「しない」

「させない」を徹底する。

【地域では】

スピードダウンの意識を高めるための啓発活動を展開する。

運動の重点③

飲酒運転の根絶

【運転者・同乗者は】

飲酒運転の危険性や責任の重大さなどをしっかり認識し、飲酒運転は絶対にしない。させない。

【家庭では】

飲酒運転を家族全員で防止



する。

【職場では】

飲酒運転防止を徹底する。

【地域では】

運転者には酒を絶対に提供しない。

運動の重点④

自転車における

安全利用の促進

【運転者には】

横断歩道や自転車横断帯を通る前に、自転車の有無をしっかりと確認する。

【自転車利用者は】

横断歩道では自転車から降りて渡るなど交通ルールを守り、歩行者や車両に注意する。

【学校では】

二人乗り、無灯火、携帯電話使用などはしないよう指導を徹底する。

【地域では】

危険な乗り方を見かけたら注意するなど、安全な環境をつくる。

運動の重点⑤

後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの

正しい着用の徹底

【運転者には】

同乗者にもシートベルト、チャイルドシートを必ず正しく着用させる。

【家庭では】

出かけるときは、後部座席を含めてシートベルト、チャイルドシートを正しく着用しているかみんなで確かめる。

【学校では】

シートベルト着用の必要性について理解させ、正しい着用を習慣化させる。

【職場では】

後部座席を含めてシートベルトの着用100%を実践させる。



ストップ・ザ・交通事故死

—めざせ 安全で安心な 車社会 北海道—
〈北海道年間スローガン〉